uObserve® Version 6.0 リリースノート

リリースノート – 2025 年 3 月 6 日

Table of Contents

新機能 2

機能強化 5

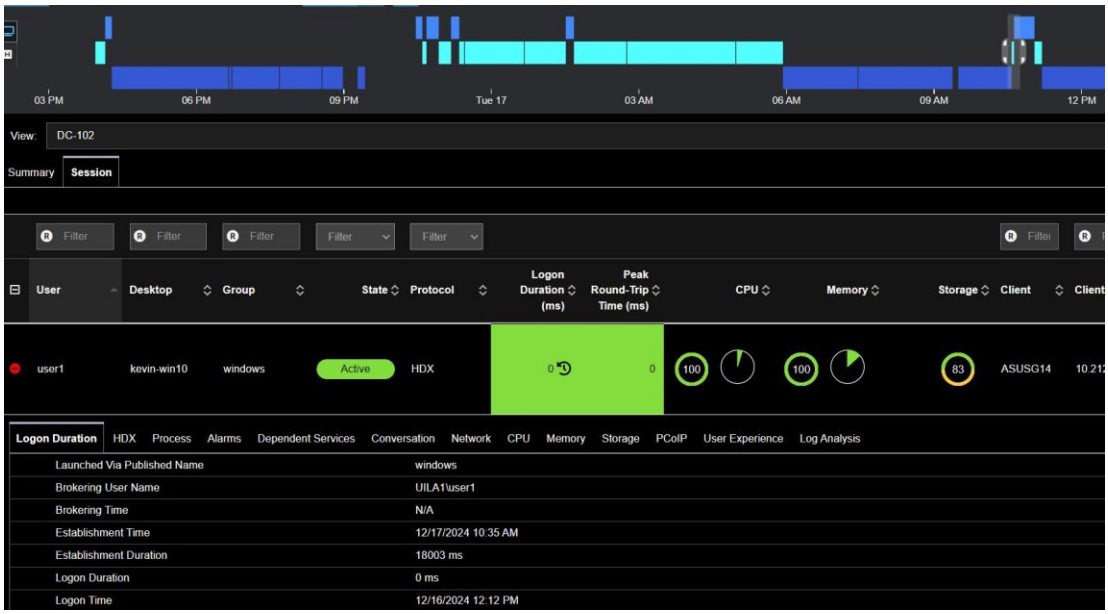
修正された問題 9

既知の問題 10

新機能

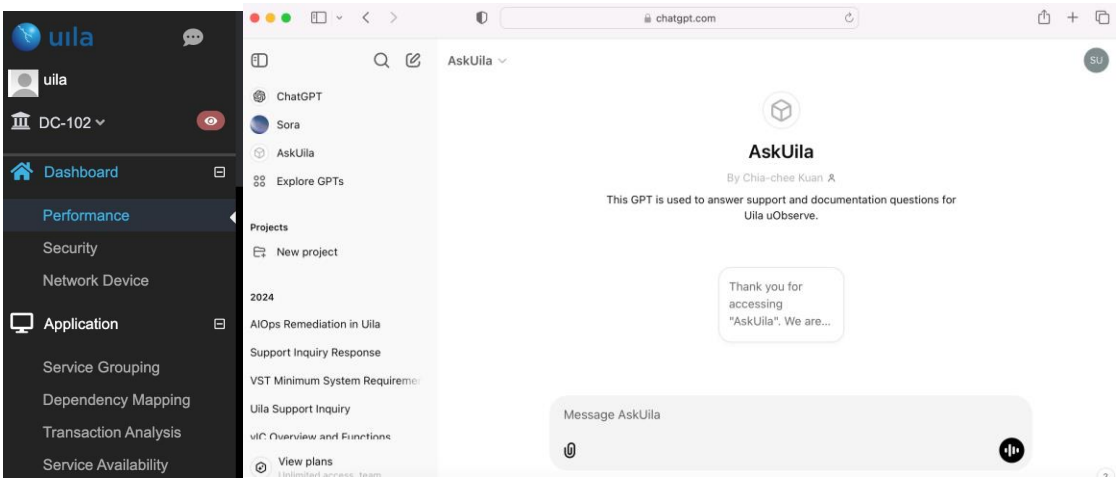
- **Citrix VDI ユーザセッションのサポート**
  この新リリースでは、VDI ユーザセッションの情報を取得するための Citrix Delivery Controller との連携が導入されました。このリリースにより、VDI およびデスクトップチームは、Citrix VDI 向けの強力なエンドツーエンドの自動化されたエージェントレスのアプリケーション依存性マッピングと Omnissa Horizon 向けのユーザセッション分析に加えて、Citrix クライアントのエンドユーザーセッション情報を利用できるようになり、VDI のシンクライアントまでボトルネックを特定できるようになりました。この追加により、ユーザセッションを分析することで、デスクトップチームはパフォーマンス、ユーザ行動、インフラストラクチャの健全性に関する深い洞察を得ることができ、プロアクティブな管理と迅速な問題解決が可能になります。

  Uila ユーザは、ユーザ名、関連する仮想デスクトップ VM、セッション開始時間、プールまたはファーム情報などを可視化できます。また、関連する仮想デスクトップ VM について、ユーザは関連するアラーム、カンバセーション、インフラリソース、使用中のアプリケーション、プロセスレベルの情報を完全に可視化できます。



- **ChatGPT との統合によりソリューション利用時のユーザ体験を簡素化**
  このリリースにより、ユーザーは uObserve ソリューションと OpenAI の高度な会話 AI である ChatGPT を統合することができます。この連携により、ユーザーは uObserve とシームレスに対話することができ、すべての問い合わせに対して、即座に、正確に、文脈を理解したサポートを提供することができます。この統合により、以下のことが可能になります：
  a. 質問への回答を即座に入手して、トラブルシュートのヒントを得る
  b. 包括的なユーザーガイドドキュメントへのアクセス
  c. Uila ナレッジベースの利用

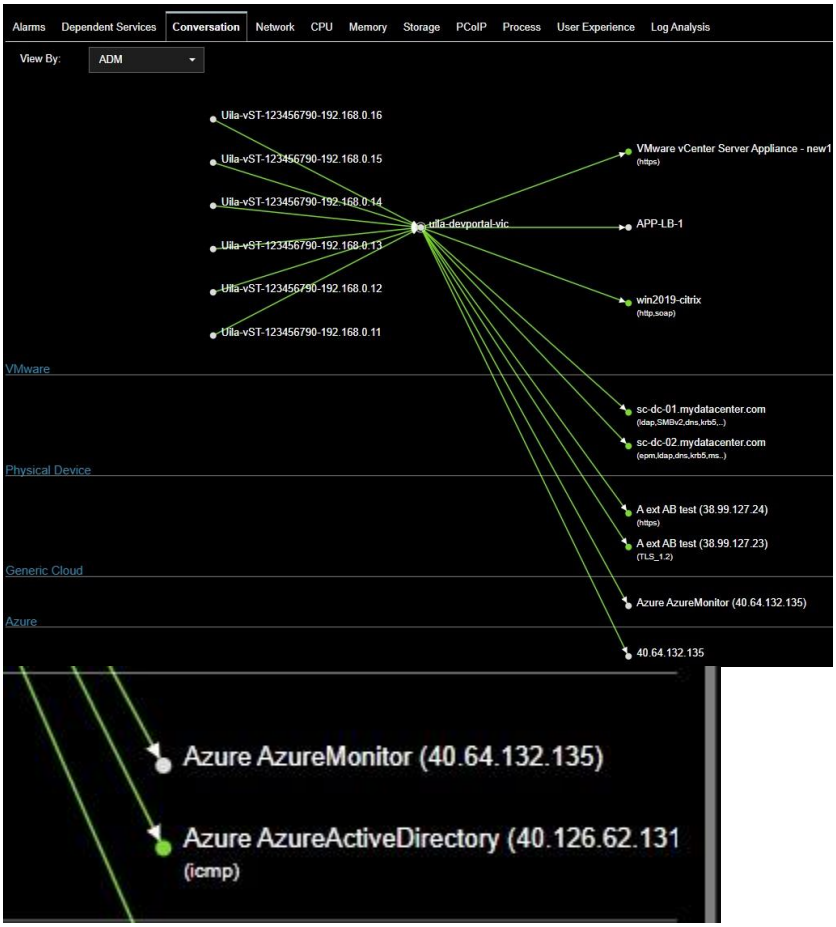
  UI で次のアイコンをクリックしてアクセスできます。  新しいブラウザウィンドウが開き、「AskUila 」にアクセスできます。ChatGPT のログイン情報が必要です。



- **PCoIP トラフィックをネイティブに解析し、VDI をより深く可視化**
  この新しいリリースにより、Uila uObserve は VDI モニタリングとトラブルシューティング機能を拡張し、PCoIP トラフィックをネイティブに分析することで、シンクライアントソリューションとその他の VDI インフラストラクチャ間の通信について、より深い VDI の可視性と効果的なトラブルシューティングを提供します。

PCoIP は Teradici が開発したリモートディスプレイプロトコル（HP Anywhere、Leostream などをサポート）で、ユーザがネットワーク経由で仮想デスクトップ、アプリケーション、物理ワークステーションに安全にアクセスできるようにします。Uila のユーザは、シンクライアントとデータセンターの VDI インフラストラクチャ間の PCoIP トラフィックをより詳細に可視化できるようになりました。これには、セッション時間、ラウンドトリップタイム、パケット転送、パケットロスなどの重要な統計情報が含まれます。この機能により、ユーザはユーザエクスペリエンスに影響を与え、リモートデスクトップが重く感じられるレイテンシーの高いシナリオを特定できるだけでなく、異なる帯域幅を必要とするアプリケーション向けに VDI 環境を最適化することができます。

- **Azure Cloud のパブリック SaaS サービス/IP アドレスの分類**
  この新しいリリースでは、ユーザは Azure Cloud のパブリック SaaS サービス/IP アドレスを分類して、アプリケーション依存性マップの外部デバイスの自動作成を利用できます。

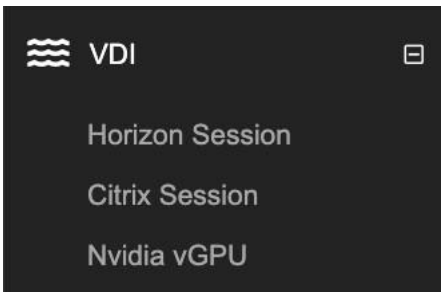


この機能を有効にするには、VIC の設定メニューから「Use Azure Public Cloud Address Book」ボタンを有効にする必要があります。

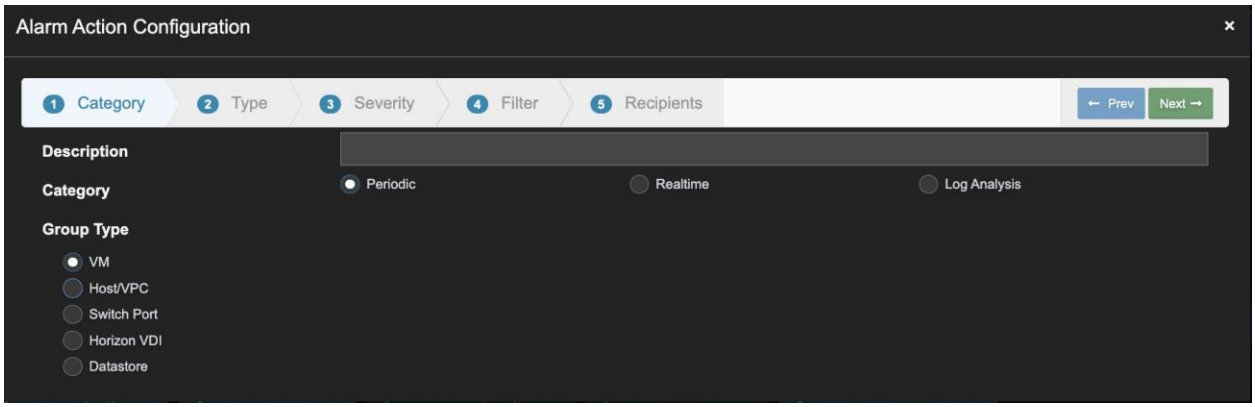
機能強化

- **再設計された VDI ユーザインターフェイス**

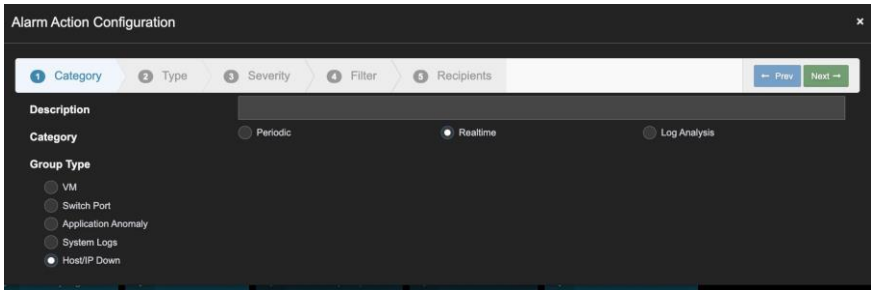
この新しいリリースでは、Horizon および Citrix VDI セッションとともに、NVIDIA vGPU の統計情報が独自のメニューで利用できるようになりました。

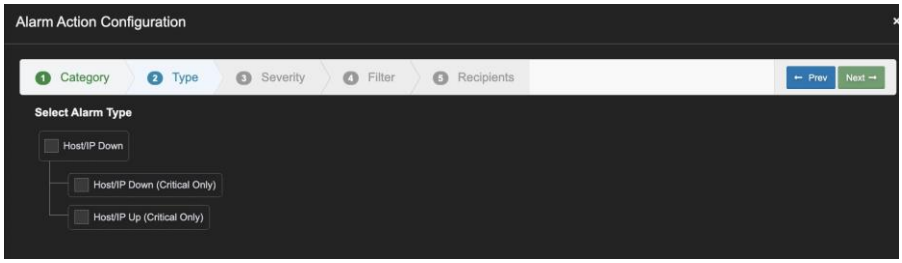


- **再設計されたアラーム設定ユーザインターフェイス**
  この新しいリリースでは、アラーム設定のインターフェイスが再設計されました。ユーザは個々のアラームタイプを選択する前に、最初にグループまたはカテゴリを選択します。

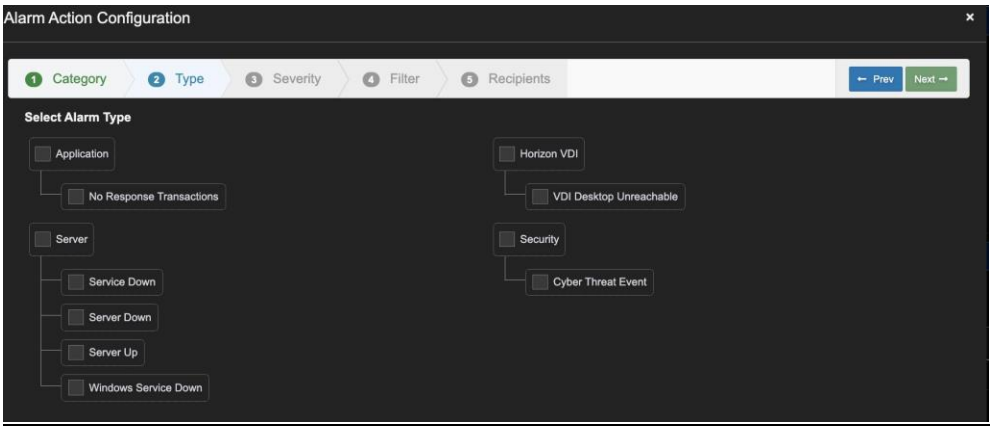


- **Host/ IP Up/Down モニタリング**
  ユーザは任意のホスト/IP アドレスに対して up/down ステータスをモニタすることができます。

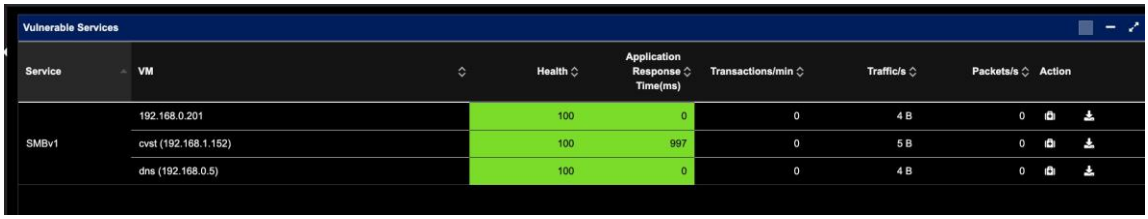




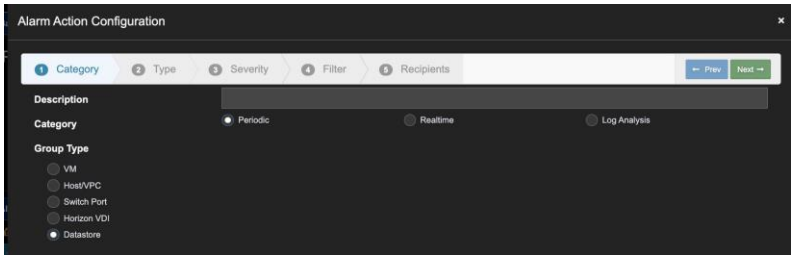
- **サーバ Up アラーム通知**
  ユーザは前にダウンしていたサーバが復旧した場合に通知を受けることができます。



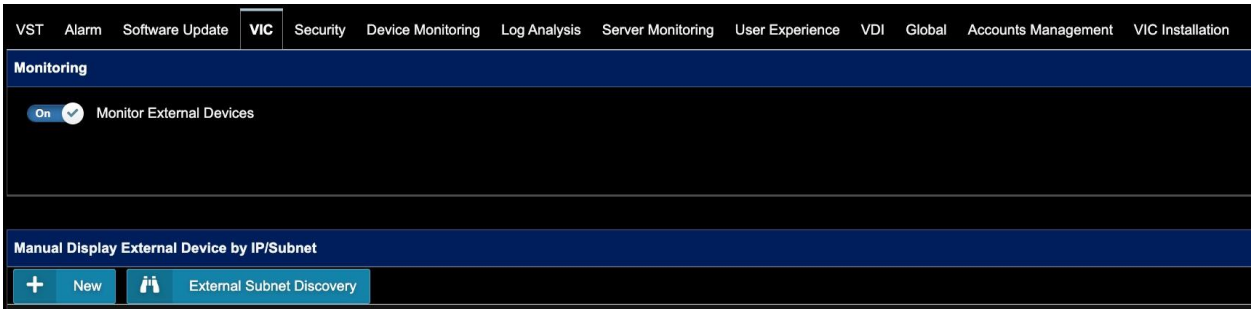
- **脆弱なサービス/プロトコルのリスト**
  この新しいリリースでは、SMBv1、NTLM などの脆弱なサービスや非推奨のサービスをセキュリティダッシュボードで簡単に可視化できます。

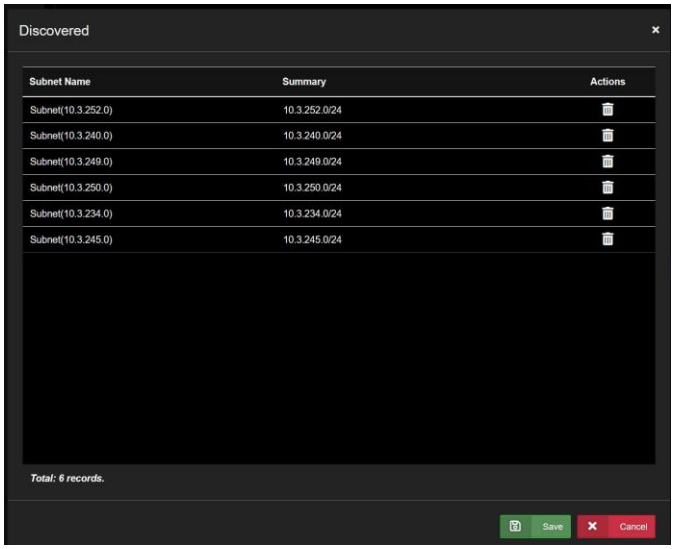


- **ホスト/データストアレベルのストレージアラーム**
  この新リリースでは、ホストおよびデータストアレベルでの読み出し/書き込み遅延のアラームを設定できるようになりました。



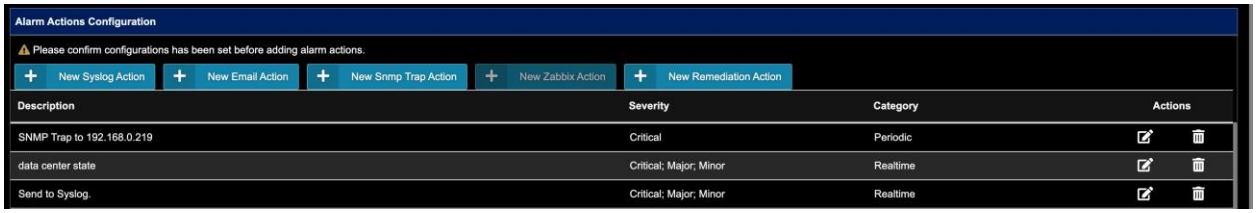
- **サイトレベルのエンドユーザエクスペリエンスとサブネット解析の設定を容易化するための外部サブネットのディスカバリ**
  この新しいリリースにより、ユーザは、サイトレベルのエンドユーザエクスペリエンスとサブネット解析の設定を容易にするために、環境内のサブネットを簡単に自動検出できるようになりました。これは VIC の設定メニューから行うことができます。「External Subnet Discovery」ボタンを選択し、検出プロセスに使用する日付範囲を選択します。





- **電子メール通知の説明**

  この新しいリリースでは、電子メール通知は電子メールの件名としてアラームの説明を使用します。



修正された問題

1. Nutanix AHV 環境向けの Uila vST の自動デプロイ
2. SCSI ディスクに対するストレージ統計のサポート
3. ユーザが Nutanix Prism Central のユーザ名を変更した際のネットワークファンクションチェーンの問題
4. 特定のレポートが生成されず、末尾の処理された%が消えることがある
5. 「#」記号を含んだクラスタ名により監視に問題が発生することがある

6. VM を再起動した後に一部の VM でプロセスモニタリングが再開しないことがある

既知の問題

1. サブネット分析：特定の状況下で Conversation Table データと利用トレンドチャートが一致しないことがある
2. ブックマークに画像が表示されないことがある
3. 特定の状況下でルートコーズ解析画面のプロセスバーグラフが消えることがある